

2014（平成26）年度 特許情報普及活動功労者表彰

## 特許庁長官賞

### 【特許情報人材育成成功労者】

三井化学株式会社 知的財産部 副部長  
菅原 好子

#### 功績

同氏は、三井化学株式会社知的財産部に勤務するかたわら、一般社団法人知的財産協会（JIPA）での活動をはじめとして、特許庁等政府機関の特許調査研究事業や人材育成事業、また、特許調査従事者の評価・顕彰の場である「特許検索競技大会」実行委員会委員長などの活動を、約20年間にわたって継続され、多くの実績を残されました。

以下に、具体的な取り組みを紹介させていただきます。

一般社団法人知的財産協会（JIPA）では、知的財産情報検索委員会に6年間所属し、副委員長（1999～2000年度）・委員長（2001年度）等を歴任されました。JIPA 専門委員会の女性委員長は初めてのことで、この点からも、大いに活躍されました。この間、国内外の特許情報検索の分野において数多くの調査実績を有するとともに、会誌やCD-ROM等を活用して会員向けに積極的に情報発信を行いました。副委員長・小委員会委員長として「特許情報検索マニュアル」、「各国特許庁サービス比較」を立ち上げたことは特筆に値するものです。これらの功績により、JIPAからは、1999年度に感謝表彰を受賞されておられます。

また、人材育成に関しては、JIPAの会員向け初級Bコースの講師を3年間（1999～2002年度）、特許庁途上国支援工業所有権人材育成協力事業海外セミナー（発明協会）の講演者（2002年度：タイ、2009年度：タイ、2010年度：マレーシア）、同庁途上国支援JPO／IPR研修（発明協会）の講師（2005～2010年度）を担当し、特許情報を活用する人材の育成に多大な貢献をされました。加えて、研修テキスト類の著作としても、研修者向けの副読本の作成等、多数の執筆をされました。

さらに、通商産業省（現 経済産業省）、特許庁（JPO）、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）の調査研究事業に委員・委員長等として参画され、「技術分野別特許マップ活用ガイドブック」、「特許流通支援チャート」の執筆・編集等に献身的な業績が認められます。

近年においては、特許検索競技大会（当初 INPIT、のち一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）が主催。JPOが後援）実行委員会の委員、副委員長（2008～2011年度）、委員長（2012年度～）として参画され、大会の運営方針・出題問題作成・評価採点等に関わり、「特許調査従事者の現状と今後に関する調査研究」での議論やその報告を踏まえ、大会運営の改善等にも積極的に取り組まれておられます。この大会は2013年度より実施主体がIPCCに変更となり、学生や研究者を対象とした「ベーシックコース」の創設や、認定制度や団体戦の導入に取り組む事により、2013年大会は過去最大の参加者数201名を数え、2014年大会の応募者数が250名を超えるなど、特許情報を活用する人材育成の場づくりに、多大な貢献をされました。

この度は、たいへん素晴らしい賞をいただき、身に余る光栄に存じます。今回の受賞につきましては、決して、私ひとりの力ではなく、これまで一緒に仕事をさせていただいた、諸先輩をはじめとした多くの方々のお力添えがあったおかげであり、その方々と共にいただいたものであると思っております。

私が対外活動をさせていただいたのは、1996年に、日本知的財産協会知的財産情報委員会に参加させていただいたのがはじまりです。同委員会においては、各企業の方々との知的財産情報に関する共通課題についての調査研究や提言などの活動をさせていただきました。

その後、特許庁の「途上国支援工業所有権人材育成協力事業」（発明協会）に関するプログラムにおいて、特にアジア諸国からの海外研修生の皆様に、特許情報調査関係の教育や現地でのセミナーの講師等の機会をいただき、また、直近では、一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）主催の「特許検索競技大会」実行委員会で活動させていただいております。



三井化学株式会社 知的財産部 副部長 菅原 好子

《プロフィール》

1985年4月 三井化学(旧三井東圧化学)株式会社入社、知的財産部(特許部)特許調査担当。

2007年7月 知的財産部情報調査センターユニットリーダー。

2012年4月から知的財産部副部長。

(主な対外活動)

- ・ JIPA 知的財産情報検索委員会委員長、
- ・ 特許庁(発明協会)JPO / IPR研修講師、
- ・ IPCC(当初INPIT)特許検索競技大会実行委員会委員長など、知的財産情報関連の各種公的活動に参画。



特許検索競技大会2013表彰式

これらの活動を通して、人を育て、また、インセンティブ向上につながる認定や表彰の場づくりができ、特許情報の世界に関連する皆様に、少しなりとも貢献できたのであれば、私自身にとっても、望外の喜びであります。

さらに、今回の受賞を励みとして、今後も、特許情報の世界において、情報のあり方、人材育成、グローバル対応をはじめとしたオールジャパンとして対応すべき共通の課題に対して、産官学のみならずと連携しながら、自らが果たすべき役割をしっかりと考え、信念を持って行動してまいりたいと考えております。

最後に、これまでの活動において、様々な場面でお世話になりました関係各位に、心からの感謝を申し上げます。

また、これらの対外的な活動に対し、その機会を与えていただき、専門性に即した社会貢献として、その活動を後押しいただきました三井化学株式会社に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

この度は、本当にありがとうございました。



特許検索競技大会2013フィードバックセミナー



特許庁(発明協会)JPO/IPR 研修 2010



特許庁途上国支援工業所有権人材育成協力事業海外セミナー2009タイ